

## 地下水溶存ガス連続観測装置 (GROWDAS) を用いた、「もんじゅ」敷地内ボーリング孔内のガス・地下水質の連続観測

### The observation of ground- gasses and water in a borehole of Fast breeder reactor research and development center Monju

渡邊 貴央<sup>1\*</sup>, 村上 雅紀<sup>1</sup>, 三輪 敦志<sup>1</sup>, 立石 良<sup>2</sup>, 島田 耕史<sup>2</sup>

WATANABE, takahiro<sup>1\*</sup>, MURAKAMI, Masaki<sup>1</sup>, MIWA Atsushi<sup>1</sup>, TATEISHI Ryo<sup>2</sup>, SHIMADA Koji<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 応用地質株式会社, <sup>2</sup>(独) 日本原子力研究開発機構

<sup>1</sup>OYO Corporation, <sup>2</sup>Japan Atomic Energy Agency

地下水溶存ガス連続観測装置 (GROWDAS: Ground water data analyzing system) を用いて、ボーリング孔内ガスの連続観測および地下水水質の連続観測を行った。

本研究では、(独) 日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉「もんじゅ」敷地内の既存ボーリング孔を用い、基盤岩中の地下水変動と潮汐との関連性を明らかにする目的で観測が行われた。観測孔 (G.L.-40m) の地質は、G.L. 0.27m まで表土および崖錐堆積物、それ以深は粗粒黒雲母花崗岩であり、G.L.-21.90m ~ G.L. 29.25m 区間、G.L.-31.35m ~ G.L.-32.15m 区間は、粘土状~角礫状に破碎されている。ボーリング孔内のガスの観測と同時に、地下水水質 (pH、電気伝導率、水温、濁度、溶存酸素量、水深) の連続観測も行った。本研究で得られた、ガス・水質データとの比較検討には気象庁のデータ (気温・気圧・降雨量・潮汐等) を用いた。

観測は12月末から行われ、終了は2月末を予定している。

本発表では、観測によって得られた結果を発表する予定である。

キーワード: 地下水溶存ガス連続観測装置, GROWDAS, 地下水水質

Keywords: Ground water data analyzing system, GROWDAS, groundwater quality, groundgasses